

議会だより

題字は、肥田中学校3年生 林 幸奈さんの作品です。

発行：土岐市議会 編集：議会だより編集委員会 TEL0572-54-1111 FAX0572-54-8971 E-mail : gikai@city.toki.lg.jp



Contents

- 第3回定例会報告…………… 2～5 ページ
- 委員会報告…………… 6～7 ページ
- 一般質問…………… 8～11 ページ
- 編集後記…………… 12 ページ

笠神公園（肥田町）

2年前に整備された笠神公園。
遊具、健康遊具、遊歩道など整備され、全世代が楽しめる公園です。

令和2年第3回定例会報告

第3回定例会には、予算関係2件、条例関係8件、その他の案件21件の合計31件が市長から上程され、請願が1件提出されました。今定例会に上程されました案件は、各常任委員会に付託され、6月19日、22日、29日に審査し、本会議において、原案のとおり可決しました。

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第39号	令和2年度土岐市一般会計補正予算(第3号)	補正額 188,913千円
議第40号	土岐市非常勤の特別職等の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	農地法に定める農地利用状況調査を、土岐市農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の業務とし、報酬を支払うため、報酬額を改定するもの。
議第41号	土岐市積立基金条例の一部を改正する条例について	土岐市庁舎建設基金を廃止するため。
議第42号	土岐市税条例の一部を改正する条例について	地方税法の一部改正に伴い、所要の改正をするもの。 ・個人市民税について、所得割の納税義務者がひとり親である場合には寡婦（寡夫）控除を適用する。 ・個人市民税の非課税措置について、ひとり親を対象に加える。 ・たばこ税について、軽量な葉巻たばこの課税方式を2回（令和2年10月、令和3年10月）に分けて見直す。
議第43号	土岐市税条例及び土岐市都市計画税条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した納税者等に対して、減免及び徴収猶予の特例を設ける等するため、所要の改正を行うもの。
議第44号	土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対して、国民健康保険料を減免するため。
議第45号	土岐市介護保険条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対して、介護保険料を減免するため。
議第46号	土岐市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	土岐市駅東自転車駐車場を廃止するため。
議第47号	土岐市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	非常勤消防団員等の損害補償に係る補償基礎額の改定及び法廷利率の改定に対応するため、所要の改正を行うもの。
議第48号	土岐市農業委員会の委員の任命にあたり、認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	土岐市農業委員会の委員の任命にあたり、少なくとも委員の4分の1を認定農業者等またはこれに準ずる者とするため、議会の同意を求めるもの。
議第49号	財産の取得について	職員用タブレット型パソコンを金36,382,500円で、富士ゼロックス岐阜株式会社から取得しようとするもの。
議第50号	財産の取得について	土岐市自主運行バス車両を金21,296,000円で、岐阜日野自動車株式会社から取得しようとするもの。
議第51号	財産の取得について	消防団用 CD-1型消防ポンプ自動車を金20,350,000円で、株式会社ウスイ消防から取得しようとするもの。
議第52号	財産の取得について	10トン水槽車を金65,670,000円で、日本機械工業株式会社から取得しようとするもの。
議第53号	土岐市功労章の授与について	令和2年4月29日に、旭日中綬章を受章された矢島成剛氏に土岐市功労章を授与するもの。
2 請願 第1号	新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金特例措置の期間延長に関する意見書提出に関する請願書	請願者 岐阜県陶磁器工業協同組合連合会
議第54号	財産の取得について	土岐市小中学校情報機器端末を金99,000,000円で中部事務機株式会社 多治見営業所から取得しようとするもの。
議第55号	令和2年度土岐市一般会計補正予算(第4号)	補正額 186,195千円

また、意見書を提出することについて全会一致で可決し、関係行政庁へ提出しました。（5ページ参照）
本会議での採決状況及び結果につきましては、下記のとおりです。（請願は委員長報告「採択」に対する賛否を表しています。）

○：賛成 ×：反対

議案番号	議決結果	後藤 正樹	安藤 学	小関 篤司	水石 玲子	水野 哲男	各務 和彦	和田 悦子	北谷 峰二	鈴木 正義	山田 正和	後藤 久男	加藤 淳一	加藤 辰亥	楓 博元	杉浦 司美	高井 由美子	小栗 恒雄	西尾 隆久
議第39号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第40号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第42号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第43号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第44号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第45号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議第46号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第47号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第48号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○
議第49号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第50号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第51号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第53号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
2 請願 第1号	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第54号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第55号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号	議 案 名	議案の主な内容
議第56号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	石原茂さんの任命同意
議第57号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	安藤喜久夫さんの任命同意
議第58号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	林汐夫さんの任命同意
議第59号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	山田義成さんの任命同意
議第60号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	佐分利武夫さんの任命同意
議第61号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	長江克典さんの任命同意
議第62号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	田中恵子さんの任命同意
議第63号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	土岐直哉さんの任命同意
議第64号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	梅村徳幸さんの任命同意
議第65号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	酒井勇さんの任命同意
議第66号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	渡邊和男さんの任命同意
議第67号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	三輪やよいさんの任命同意
議第68号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	田中成典さんの任命同意
議第69号	土岐市農業委員会委員の任命同意について	和田孝美さんの任命同意
議員提出 第2号	新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整 助成金特例措置の期間延長に関する意見書 の提出について	提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚 生労働大臣

《請願が採択され、意見書を提出しました。》

新型コロナウイルス感染症に係る
雇用調整助成金特例措置の期間延長に関する意見書

新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金の特例措置は、令和2年9月30日まで緊急対応期間が延長されたものの、陶磁器業界を始めとする地域産業においては感染症拡大防止に伴う経済活動自粛により受注が激減しており、3月以降の稼働率が50%を下回る事業所が非常に多くなっている状況にある。

今後、この状況が早期に好転するとは考えづらく、むしろ受注状況はさらに悪化することが予想され、企業存続の危機に至る大変厳しい状況にあると言わざるを得ない。

地域における雇用を維持し事業を継続していくためにも、新型コロナウイルス感染症特例措置の更なる期間延長を下記のとおり強く要望する。

記

緊急対応期間 令和2年12月31日まで延長
生産指標要件 現在の生産指標要件を継続
助 成 率 現在の特例措置の助成率を継続

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

○：賛成 ×：反対

議案番号	議決結果	後藤 正樹	安藤 学	小関 篤司	水石 玲子	水野 哲男	各務 和彦	和田 悦子	北谷 峰二	鈴木 正義	山田 正和	後藤 久男	加藤 淳一	加藤 辰亥	楓 博元	杉浦 司美	高井由美子	小栗 恒雄	西尾 隆久
議第56号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○
議第57号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第58号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第59号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第60号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第61号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第62号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第63号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第65号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第66号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○
議第67号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第68号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第69号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 第2号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○



9月定例会(予定)

※午前9時 開会予定(変更の場合あり)

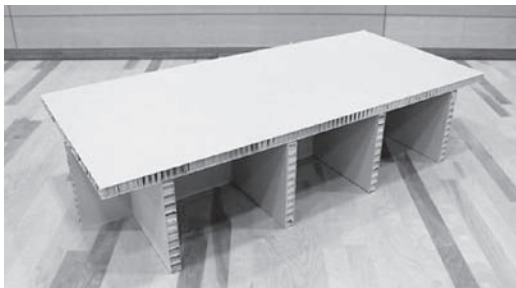
日	月	火	水	木	金	土
8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29
			本会議 初日 (議案提案説明)			
8/30	8/31	9/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
	本会議 2日目 (質疑・委員会付託・一般質問)	本会議 3日目 (一般質問)	本会議 4日目 (一般質問)	文教厚生 委員会	文教厚生 委員会	
13	14	15	16	17	18	19
	総務産業建水 委員会	総務産業建水 委員会				
20	21	22	23	24	25	26
27	28					
	本会議 最終日 (委員報告・質疑・討論・採決)					

委員会報告(総務産業建水委員会)

令和2年度土岐市一般会計補正予算(第3号) 所管部分

質疑 避難所生活環境確保事業について、指定避難所へ配備する備品の詳細は。

答弁 段ボール式パーテーション48ユニット、組み立て式段ボールベッド48台、非接触型体温計16台、アルコール消毒液80本である。



▲組み立て式段ボールベッド



▲段ボール式パーテーション

土岐市非常勤の特別職等の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 農地利用状況調査を、どのように実施するのか。

答弁 農業委員及び農地利用最適化推進委員が9月を調査基準として、農地の状況を調査する。

財産の取得について(議第49号)

質疑 落札率は何パーセントであったか。

答弁 89.7パーセントである。

土岐市積立基金条例の一部を改正する条例について

質疑 長期的な財源確保の観点から、少額でも基金に積み立てていくということは検討されなかったのか。

答弁 庁舎が完成し、区切りを付けるという意味と、財源的に余裕がないため、必要なところに財源を充てるため廃止する。将来的にどうするかは、今後の検討課題である。

財産の取得について(議第52号)

質疑 予定価格はいくらであったか。

答弁 消費税込みで6,600万円であった。



購入する10トン水槽車と同型の車両▶

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金特例措置の期間延長に関する意見書提出に関する請願書について

意見 地元の声として、陶磁器業界の好不況の波は、他の業種と比べ、2、3か月遅れる傾向にあり、延長を望む声が大きいため、この請願を採択としたい。

意見 雇用を是非とも維持し、この難局を乗り越えていただきたいため、この請願を採択したい。

委員会報告(文教厚生委員会)

令和2年度土岐市一般会計補正予算（第3号） 所管部分

質疑 児童福祉費の新型コロナウイルス感染症対策事業のうち、空気清浄器は何台購入する予定なのか。

答弁 保育園6園に43台、こども園2園に15台を購入する予定である。

質疑 高齢運転者交通安全対策事業費補助金について、来年の3月までという短期間の補助事業であるが、どのように周知するのか。

答弁 広報とき、ホームページに掲載するとともに、東濃西部3市の安全装置取付販売店、老人クラブ、はなの木大学への事業の案内を積極的に行う。

質疑 GIGA スクール構想における情報機器活用方針作成業務の詳細は。

答弁 タブレット端末を使った授業を積極的に進められるよう、教職員に配布する手引き書を作成する。

質疑 小中学校端末購入事業について、いつ頃までに、全小中学生分の端末が配備されるのか。

答弁 端末の納入時期は不確定であるが、年度内に配備することを目標としている。



討論 所管外であるが、この補正予算には、病院事業一部事務組合設立準備会負担金が計上され、一病院化への不安がある一方で、新型コロナウイルス対策関連事業等、必要な予算が計上されているため、この予算に賛成する。

土岐市税条例の一部を改正する条例について

質疑 たばこ税の葉巻たばこの課税を見直すことによる影響は。

答弁 年間数万円程度の税収増となる見通しである。

土岐市税条例及び土岐市都市計画税条例の一部を改正する条例について

質疑 新型コロナウイルス感染症に伴うイベント中止に係る寄付金税額控除の特例について、どのようなものが指定されるのか。

答弁 文化庁、スポーツ庁から承認を受けた事業である。

土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

質疑 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者の収入判定はどのようにするのか。

答弁 被保険者に対する支援を速やかに実施するため見込みで判断する。

質疑 保険料を減免した部分について、国から補てんはあるのか。

答弁 国から10分の10、財政支援される。

土岐市介護保険条例の一部を改正する条例について

質疑 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者の収入判定はどのようにするのか。

答弁 被保険者に対する支援を速やかに実施するため見込みで判断する。



西尾 隆久

◆新型コロナウイルス関連の対応について

問 今年度予算中、市関連の行事、イベント等の中止による不執行の財源について。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の実施計画事業121事業のうち、不執行または事業内容の見直しを行う事業は15事業となっており、また今後の状況次第では検討の事業もある。事業費の減少額等については、今現在、精査中で国の補正予算によりまず地方創生臨時交付金等、新たな補助制度もあり、事業の執行の可否、見直しによる事業費が固まった段階で、予算計上事業の財源の組換え、また新たな対策事業の予算計上等も含めて、整理していく。

問 家庭ごみの排出量について、昨年度同時期に比べ現状はどうであったか。

答 緊急事態宣言が出された4月及び5月の排出状況は、4月が1044.6トン、前年同月と比べ約60トンの

増加、率にして6・1%の増。5月が1219・8トン、前年同月に比べ134トンの増加、率にして12・4%の増で4月5月、2か月間を合わせ2264・4トン、前年比194トンの増、率にして9・4%の増でありました。

問 本市独自の市民に対しての支援策について。

答 新型コロナウイルス感染症に係る、給付、融資、貸付、あるいは各種支援制度の手続きに必要な各種公的証明書の交付手数料の減免をはじめ、陶磁器業界への支援策としてセラテクトの手数料の減免などの実施。また今定例会でも提案させていただいている国民健康保険料、介護保険料の減免や徴収猶予、上下水道料金や市営住宅家賃徴収猶予など支援施策を実施しているところであり、基本的な考え方としては、真にお困りの方への救済措置というような考え方である。また、なんじやもんじゃ振興券により、地域経済、市民生活を支援してまいりたい。

問 (仮称) 感染症対策基金の創設について。

答 感染症対策を目的とした基金の創設については、本市の財政状況は決して余裕がある状況ではなく、既にある財政調整基金により柔軟に対応をしていきたい。

《第3回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



後藤 正樹

◆避難所の感染防止対策について

問 新型コロナウイルス感染防止を踏まえた本市の避難所運営マニュアルの概要と特徴を教えてください。

答 県の示したガイドラインを参考に、避難所での対応を定め、各種チェックリストなどを添付している。

問 避難所が密閉・密集・密接のいわゆる「三密」になることを回避する具体的な方策について教えてください。

答 前後左右2メートルの間隔で避難スペースの区割りを行い、一定時間ごとに換気をする等の対策を講じる。

● 市民の皆さんが安心して避難所に来られるよう、感染防止対策の強化と周知の推進をお願いしたい。

問 地域防災計画にある「感染症患者の隔離」は、どのように行うのか。

答 保健所の指導・指示を仰ぎながら、指定医療機関の受診につなげるなど、ケース・バイ・ケースで対応する。

◆「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」について

問 国の今年度第一次補正予算に盛り込まれた当該臨時交付金の活用方法

について、市長は、どのような点に重きを置いたのか。

答 地域経済、特に地元企業の支援ということに重点を置いた。

問 当該交付金を活用した本市の取組について、具体的に教えてください。

答 地域プレミアム付商品券発行事業に約5億3千万円、飲食店のテイクアウト支援事業に約1千5百万円等、計16事業で、総事業費は約7億円。交付対象経費は約4億2千万円。

● 当該交付金は、第二次補正予算で2兆円が増額された。コロナ禍で苦しむ市民・事業者の皆さんのために、コロナ対策として、真に効果のある事業に有効に活用していただくことを期待している。

◆指定管理者制度が導入された、総合病院の管理運営について

問 管理運営状況の評価方法について教えてください。

答 公平かつ適正な評価を行うための評価委員会を設置した。評価内容は、基本的医療の他、政策的医療、地域医療連携といった観点からの評価を想定している。詳細については7月に開催予定の当該委員会でも審議する。

● 総合病院が担うべき役割を果たしているか否かを実質的に評価できる有用な評価項目や、管理運営状況の良し悪しを的確に判断できるような評価指標を採用していただきたい。



● 小栗 恒雄 ●

◆ウィズ・アフターコロナに備えて

問市長の緊急時情報発信について

答今後、第2波、第3波、あるいはいろいろな災害の際にもできれば直接呼びかけたいと思います。

問市施設の防疫体制について

答市役所庁舎の入り口に消毒液の設置、定期的な換気、待合室の椅子の間引き、カウンター、テーブル、椅子の定期的な消毒、窓口カウンターに透明の遮断シート、アクリル板等を設置し対応しています。また、セラトピア土岐や文化プラザなどの貸館業務では、利用者把握のために名簿の提出、マスクの着用、健康チェック等をお願いなど、感染防止対策に努めているところです。

問消防職員の感染防止について

答救急職員のコロナ感染防止は、全ての救急出動において、救急隊員はゴーグル、N95マスク、手袋、感染防止衣等を着用して出動し、署に戻った後は、搬送車に使用した機材やストレッチャー等は消毒して次の出動に備えるようにしております。

問コロナ禍のゴミ出しの注意点について

答使用済みのマスクはレジ袋等に入れごみ袋へ。収集にあたる職員にとって、ごみ袋が散乱し中身が出てしまうことが非常に感染の危険が増します。また、カラス等の飛散させないためにも、当日のみの朝8時半までに出していただくことが基本です。

問市民バス等の感染防止策について

答運転手のマスク着用の義務付け、社内の定期的な消毒と換気の実施、全車両の徹底消毒を週一回実施、運転席にビニールカーテンを設置。乗客様にはマスク着用や車内での会話の自粛をお願いしております。

問総合病院オンライン診療について

答市立総合病院では風邪症状がない高齢者や基本疾患を有する方に対する継続的な医療、投薬等については感染防止の観点から、電話による診療等により処方箋を発行するなど、院内感染防止の非常時措置として、慢性疾患等の定期受診患者等には、主治医の判断により処方箋の発行について実施しております。

問夏休み短縮の見通しについて

答小・中学校では、授業数の確保のため夏休みを9日間とさせていただき、23日間短縮することで、三密を回避し学校行事等も精選し、今年度中に休校した分の授業等の内容を取り戻すよう計画をしております。

《第3回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 小関 篤司 ●

◆小・中学校再開のなかで、学びの保障と感染予防対策について

問一斉登校後でも適切な距離を保つため、さらに休校で学習の遅れの個人の差が出てきているなかで、きめ細かい指導を行うためにも、少人数学級の実施についての考えは。

答（教育長） 一番理想の形は少ない人数できめ細かい指導をすることと思いますが、現実的に教員数の関係で、クラスを分けてやる授業は時間割上、組むことは出来ません。そのなかで、特に最終学年は個人的に補習や補習をどのようにするかがポイントです。総合的に少人数指導を工夫しながら、学習が遅れた子たちを、個々で対応する体制づくりが、これからの課題だと捉えています。

●補習も少人数学級でもやはり教員の数が必要です。国の予算、市独自の予算のなかで、子ども達の学びを保障する上で、教職員の追加、加配検討をしていただきたい。

◆市民生活と子育て支援について

問自粛生活で家のなかで生活する時

問も長く、水道代金を気にせず感染症対策をしてもらう、学校給食費も近隣市が期間的に無料を行います。文科省も必要保護家庭に休校中の昼食費支援を認めています。水道料金と学校給食費の支援の考えは。

答減免は一律ではなく、真にお困りの方への救済措置と考えています。水道料金の減免を実施する予定はありません。給食費は必要保護に対する支援を検討しています。

◆土岐市立総合病院の現状と今後

問4月の指定管理から病院の利用状況はどのようになりましたか。

答入院患者数は3月から4月で25.7%減。延べ外来患者数は22.9%減。総合病院の患者の受入れ体制は変わっていませんが、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う受診抑制、処方薬の長期投与や緊急性の伴わない手術の延期が影響していると推察しています。

問コロナ禍の下で地域医療構想、一病院化についてどのように捉えるか。

答（市長） 地域医療構想に基づいて適正な医療の提供体制をどうするかという観点で検討してきたものです。医療資源を集約することで高度な医療を確保する願いのなかで進めているもので、コロナが蔓延しても、今の段階で一病院化の考え方が大きく変わるものではないと思います。



和田 悦子

◆コロナ禍における要支援者の救済について

問 コロナ感染の影響で失職や減給になった方からの相談内容・件数は。

答 主に生活資金の相談であり、緊急小口資金、生活支援資金の貸付け制度で支援をするというもの。相談件数は245件。住居確保の相談が46件。自立支援相談は49件。

問 支援ができない事例について。

答 新型コロナウイルス感染症の影響ということが条件となっており、そうでない場合は対象外になる。また預貯金が一定の額をこえている場合は対象にならない。

◆人口減少対策について

問 コロナ禍で首都圏から約4割の人が地方へ移住したいとの希望者があり、企業も東京から退去するという情報がある。地方にとって移住者獲得の好機であるが本市への移住の取り組みについて。

答 企業の変化を注視しつつ、東京・名古屋・大阪のふるさと暮らしの情報センターやHPでのPRと併せて

移住促進施策を進めていきたい。

問 市長の考えは。

答 (市長) 土岐市の魅力を高めて移住を呼び込むことが大事と思っている。

問 移住希望者向けに対面で相談ができるウェブ相談の検討について。

答 顔を見ながらの相談も必要かと思う。導入については検討課題とさせていただきます。

◆ 移住定住促進奨励金事業について
問 事業導入後、土岐市に住宅を取得された世帯数について。

答 制度導入の平成24年から8年間、756世帯2,342人が移住された。

問 平成30年度は移住者が多く、目標を上回っているにもかかわらず、事業評価がB判定になっているが、

答 定住促進奨励金の交付申請者にアンケートをおこなった。奨励金が本市の住宅を取得する要因となったかの項目では「要因となっていない」

が58・6%で、奨励金が移住先を選定する材料になっていない。土地の価格が安い、通勤通学がしやすいといった理由が上位をしめている。あらためて奨励金交付を受けられた世帯にアンケートを実施し、移住・定住事業の見直しに使っていききたい。

● 土岐市は地震の揺れが小さい地域。気象庁のデータも活用してPRするとのいのではないか。

《第3回定例会一般質問》

● 印は議員の意見・提案



後藤 久男

◆土岐川洪水ハザードマップ

問 土岐川10メートル以上浸水も、との掲載で、新たなハザードマップの作成をされるのか。市の考えは。平成元年災をはるかに超える洪水により甚大な災害が生じることが明白であるため、土岐川洪水ハザードマップの作成が急務と思いますが。

答 素案作成後に各自治体にご協力を頂いて、本年度末までには作成を完了して配布をする予定。

問 新たな避難場所及び避難経路の設置について。

答 現在土岐市の避難所は広域避難所が25か所、一時避難所や地域の集会所を合わせると200以上、浸水区域である泉・土岐津・肥田の3町内にある132か所の避難所のうち、浸水により使用できないと思われる避難所は47か所、避難所のみならず自宅での垂直避難、友人、知人、親戚宅への避難も選択肢である。

◆ 新型コロナウイルス感染症対策について

問 保育や授業中の換気について、どのような対処をされているのか。換気は1時間に10分の換気よりも、1時間に2回の換気のほうが効果は高いと言われている。また、空気の通り道をつくる開け方として、1か所だけでなく2か所の窓を開けると、さらに効果的であるといわれている。

答 校舎の構造や教室の広さ等々異なるが、基本的な考え方については一緒に、常時対角線上に2つ以上窓をあけることが共通理解です。また、扇風機を併用して強制換気を行う。

問 特別定額給付金の支給について6月15日の新聞報道は全国平均36%となっているが、土岐市の支給状況は。

答 2万4072世帯、97・4%で、人員は5万6810人、98・4%。

問 支給の迅速さ、そして地域活性化経済対策のため「なんじゃもんじゃ振興券」の発給等で、市長の評判はうなぎのぼりであり、多くの市民からの感謝の手紙をいただき、市長はどう感じてみえるのか。

答 市民の皆さんから直接手紙をいただき私自身にとっても非常に励みになっております。今後も気を引き締め迅速、適切な対応に心がけていきたい。また独自の処理プログラムを作成したい。



高井由美子

◆災害時の受援計画について

問 災害時の他自治体からの応援職員
の受け入れは。

答 東海環状自動車道の沿線都市の県
内6市、県外2市、姉妹都市の焼津
市など災害協定を結んでいる。

問 食糧や生活用品の支援物資は。

答 市内のスーパー、ドラッグストア、
ホームセンターなど食料品及び生活
物資の供給に関する協定を9つの事
業所と締結している。

問 ボランティアの受け入れは。

答 社会福祉協議会が設置するボラン
ティアセンターを効率的に運営でき
るよう、現在、社協と協議中。

問 受援計画策定のお考えは。

答 大規模災害に備えて、国のガイド
ラインを参考に、県の受援計画との
整合性を図り検討する。

◆マンホールトイレの導入について
問 災害時に下水道に直結するマンホ
ールを活用したマンホールトイレの
導入のお考えは。

答 下水道の破断、液状化など、費用
対効果の検証、設置場所など検討し

たい。

●政府が定める防災基本計画でのマ
ンホールトイレの位置付けには、地
方公共団体が地域防災計画に位置付
けて取り組むべき事項の一つとされ
ています。

早急に設置できるように要望します。

◆聴覚・言語機能障がい者の方等の
緊急通報システムについて

問 ネット119の緊急通報システム
は、音声による119番通報が困難
な聴覚・言語機能障がい者が円滑に
消防への通報を行えるシステムです。
土岐市での導入についてお考えは。

答 現在、電話での音声通話が困難な
方からのファクスによる119番通
報を受信できる体制を取っている。
ネット119はファクスと比べると
チャット機能で写真データの送信が
でき通報者とのやりとりが迅速に行
え、外出先でも通報が可能で、
今年秋ごろの運用を目標に、現在
導入の準備を進めている。



《第3回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



水石 玲子

◆新型コロナウイルス対策について

問 学校再開について、現在の子ども
たちの様子は。

答 友達や先生に会えてうれしい、楽
しいという声が多い。感染予防につ
いても意識を高く持ち取り組んでい
る。コミュニケーションが取りづら
い中でも、真剣に授業に取り組んで
いる姿がある。挨拶の声が以前より
小さく感じたり、感染を恐れる様子
が少ないけど見られる。

問 子ども達の不安や悩みに寄り添っ
心のケアの支援体制、自殺予防は。

答 臨時休校中に市内の小・中学校の
全児童、生徒を対象に心のアンケー
トを実施。スクールカウンセラー、
教育相談員と連携を図りカウンセリ
ングを実施。現時点で小学校で18件、
中学校で17件の相談を行った。

自殺防止については、悩み相談窓
口を紹介したプリントを全児童、生
徒に配付。小学校高学年、中学生に
は学級担任を通して自殺予防のガイ
ダンスを行うように校長会を通じて
指示している。

◆家庭教育支援について

問 土岐市の家庭教育支援の現状は。

答 あすなろ家庭通信の発行、土岐市
家庭教育、子育て・親育ち特集の活
用、乳幼児学級でくく、子育て講
座、幼稚園や小・中学校の家庭教育
学級の担当者に研修や実践交流提
供。

問 訪問型の家庭教育支援の導入は。

答 今年から教育支援アドバイザーを
配置し、家庭児童相談員と情報を共
有しながら、家庭訪問の支援活動
をしている。訪問型家庭教育支援に
ついては、研究課題として検討してい
く。

問 今年度より導入されるスクールロ
イヤール制度の詳細は。

答 市内に法律事務所を構えてみえる
3名の弁護士が担う。全小・中学校
でいじめに関する出張授業を行い、
人権を守ることの重要性やいじめの
法律上の扱いについて学ぶ機会とし
教員研修も行う。



子育て・親育ち特集の冊子

議場の紹介

土岐市議会の議場は、市民の皆さんの「多目的に使える議場にしたい」という意見のもと、新庁舎建設を機に新たに生まれ変わりました。今回はそんな議場の紹介をしたいと思います。



木材を多く使った、温かみのある議場です。



車いす用傍聴席もあります。

より多目的に…



議場コンサート
(新庁舎オープニングイベントにて)



入庁式・退任式も議場で行いました。



開かれた議場へ…

編集後記

令和2年7月豪雨では、線状降水帯による記録的大雨が九州地方を襲い、岐阜県下に於いても高山市、下呂市など河川の氾濫により家屋の倒壊などの被害がでました。本市に於いても人的被害はなかったものの、地滑りや倒木などが発生し、改めて災害の恐ろしさを目の当たりにしました。これからが台風シーズン本番となってまいります。テレビ、ラジオや行政から発出される災害情報に耳を傾けて頂き、「いざ」という時には早め早めの避難行動をされますことを強く訴え、我々議会人も市職員と連携を取りながら市民の安全に取り組んでまいります。

・・・備えあれば憂いなし・・・

(文責：北谷峰二)

議会だより編集委員会

委員長：小栗恒雄 副委員長：北谷峰二

委員：加藤淳一 後藤久男 鈴木正義 各務和彦 水石玲子 安藤学